

令和6年 滑川市の水道

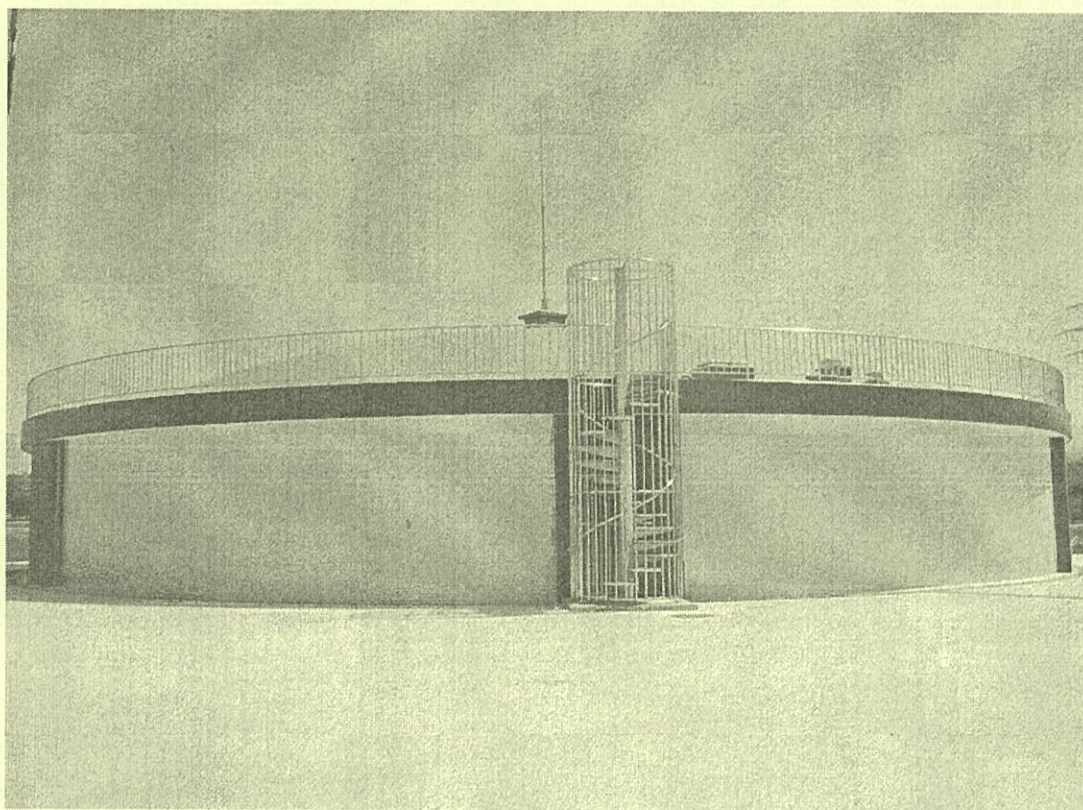


写真:新横道配水池

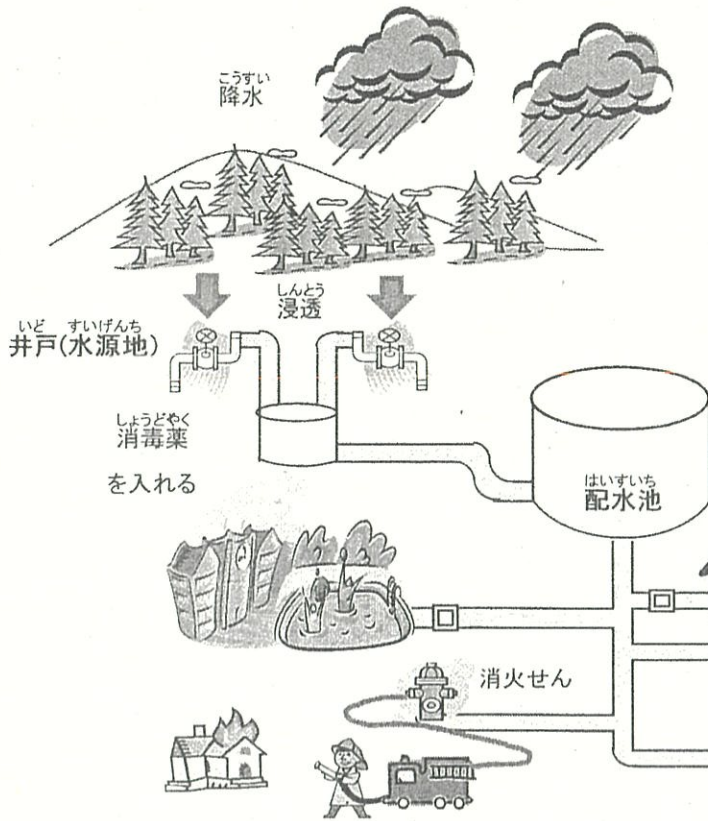
6月1日～6月7日は水道週間です

スローガン

「たいせつに みずはみんなの たからもの」

水道水が届くまで

みなさんがいつも使っている水道水が、どのようにして家庭まで届くのか考えてみましょう



◎ 地下水を利用している水道
(滑川市の場合)

雨や雪どけ水が地面に浸透^{しんとう}した地下水を
すいげんち
水源^{すいげんち}地でくみ上げます。

くみ上げられた水は消毒薬を入れたあと
に、一度配水池へ集められます。

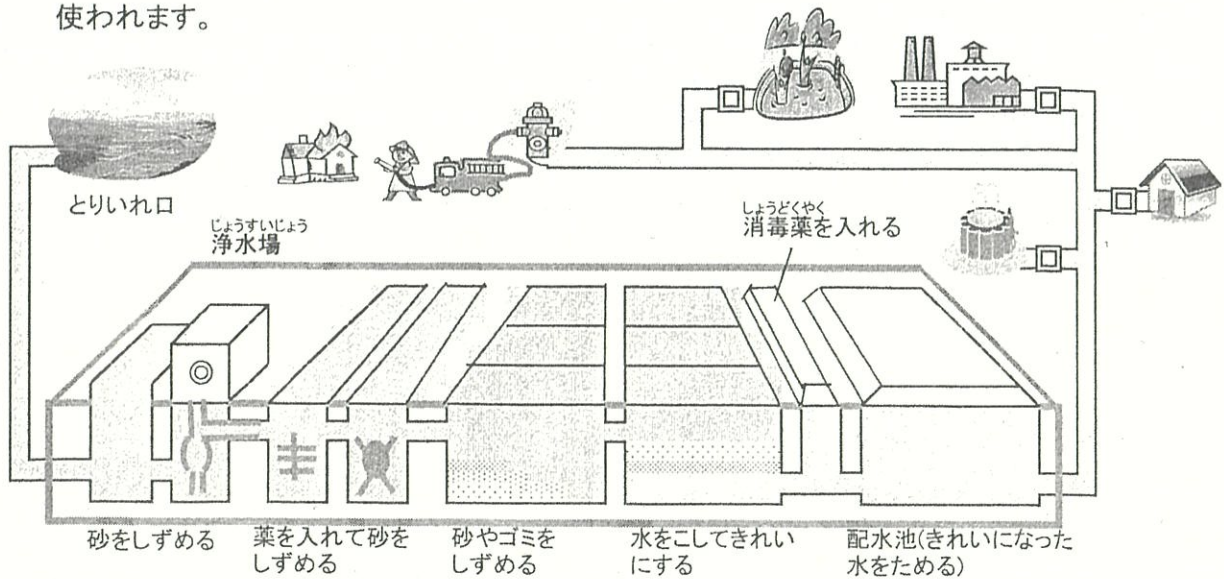
配水池に集められた水がみなさんの家や学校などに送られ使われます。

◎ 川や湖の水を利用している水道
(富山市の場合)

地下水を利用できない市区町村では、川や湖の水を利用しているところがあります。

川の水や湖の水はそのままでは使えないので、一度浄水場で水に混じっている砂やゴミを取りのぞいたり、消毒薬を入れたりしてきれいな水にします。

浄水場できれいになった水は配水池に集められ、そこからみなさんの家や学校などに送られ使われます。



水道施設とそのはたらき

すい げん ち 水 源 地

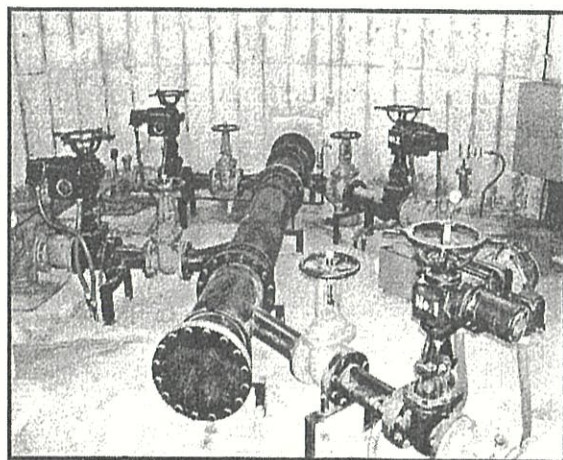
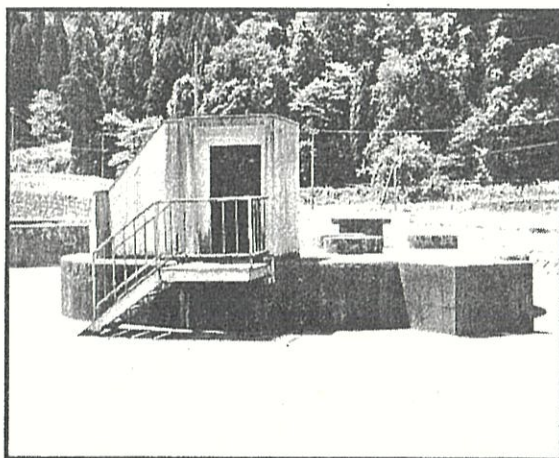
滑川市の水道水のもととなる地下水をくみ上げる施設しせつです。

現在、早月川も沿いに13カ所の水源地があり、全部の水源地をあわせると1日に約19,000 m^3 の水をくみ上げることができます。

①第1水源地

下の写真は、第1水源地の建物と、中の様子です。

この水源地では地下20mから一日に約6,500 m^3 の地下水をくみ上げることができます。



②第7水源地

この水源地は、一日に約1,500 m^3 の地下水をくみ上げて、横道配水池よこみちはいすいへ送っています。

井戸の口径は500mm（ポンプ口径125mm）で深さは75mです。

はい すい ち 配 水 池

配水池は、水源地でくみ上げられた水をためるところです。

この配水池からみなさんの家や、学校などに水を送っています。

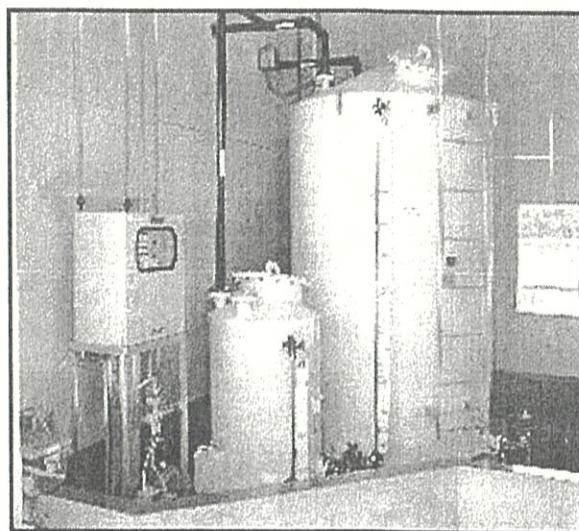
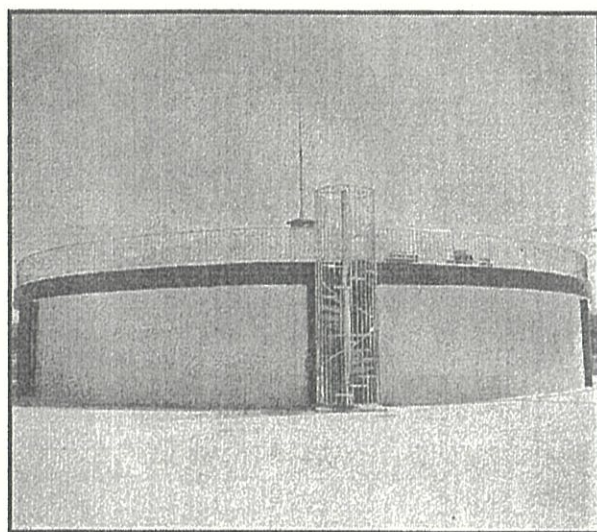
①新横道配水池

左下の写真は、平成21年に完成した新横道配水池の外観です。

この配水池には3,500 m^3 の水をためることができます。

右下の写真は、水に消毒薬を入れるための設備です。

水源地でくみ上げられた地下水はきれいでおいしい水ですが、みなさんにより安全な水を飲んでもらうために消毒をしています。



消毒施設

②横道配水池

この配水池には2つの大きなタンクがあり、山側のタンクには2,300 m^3 、海側のタンクには1,800 m^3 の水をためることができます。

この①と②の配水池から寺家小学校区、田中小学校区、東部小学校区、北加積小学校区、南部小学校区、西部小学校区へ水を送ります。(なお、東加積小学校区の全域と東部小学校区、北加積小学校区、南部小学校区の一部へは、別の配水池から水を送っています。)

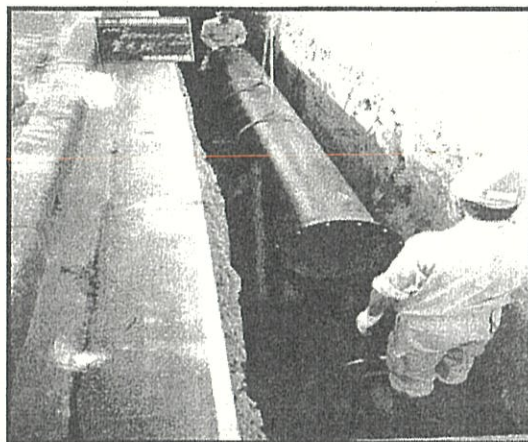


水道管

みなさんに水を送るための管が、道路の下に埋めてあります。

水道管の太さは、40mm（4cm）から500mm（50cm）までさまざまなものがあります。埋められている管の総延長は約250kmになります。

下の写真は、水道管を埋める工事の様子です。



水道料金について

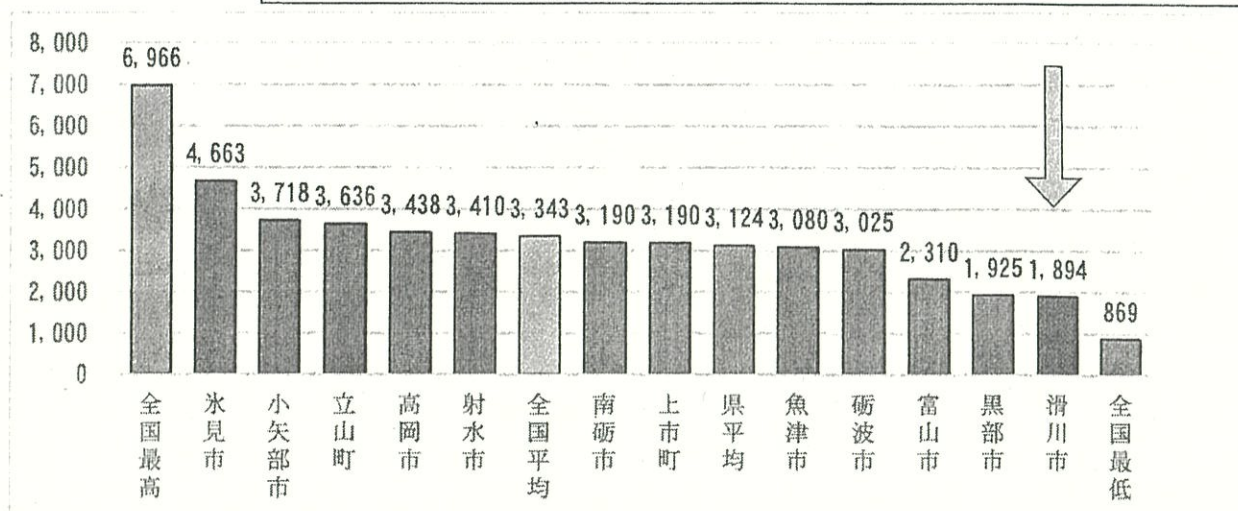
滑川市の水道料金は、富山県内で1番安くなっています。

これは、早月川流域のとてもきれいで豊富な地下水を水道水に利用することにより消毒以外の浄水処理（砂やゴミをのぞく処理）を行う必要がないため、安くておいしい水をたくさん供給することができるからです。

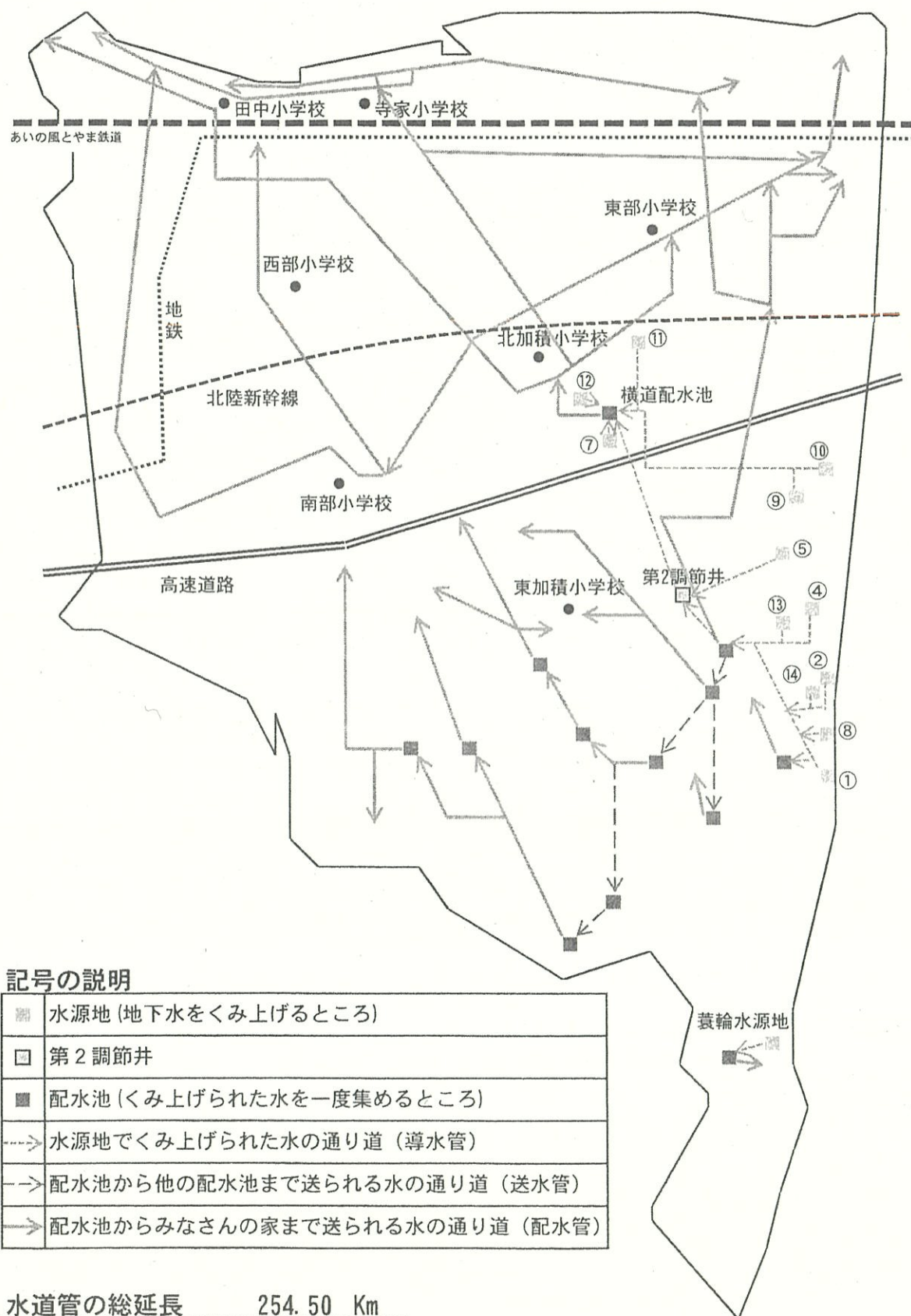
(円)

富山県内の水道料金比較グラフ（一般家庭において口径13mm、1か月20m³を使用した場合）

【令和5年4月1日現在】



滑川市の水道施設と水道管の通り道



水道管の総延長 254.50 Km

- ・ 導水管 (※1) 10.00 Km ※1 導水管とは、水源地から配水池まで水を送る管のこと
- ・ 送水管 (※2) 7.10 Km ※2 送水管とは、配水池から他の配水池まで水を送る管のこと
- ・ 配水管 (※3) 237.40 Km ※3 配水管とは、配水池から消毒した水をみなさんの家や学校まで送る管のこと

滑川市の水道の歴史

昭和 29 年 3 月に滑川町と各加積村（浜・早月・北・東・中・西加積）が合併し滑川市ができました。

滑川市では、立山連峰^{れんぽう}から流れる早月川^{はやつきがわ}流域^{りゅういき}の地下水を水源として、昭和 32 年 1 月から水道水の供給を始めました。

滑川市の水道が始まってから 60 年以上が過ぎましたが、その間たくさんの水道施設を作ったり、水道管の工事を行ったりして、市民のみなさんに安全でおいしい水を飲んでもらえるよう努力してきました。

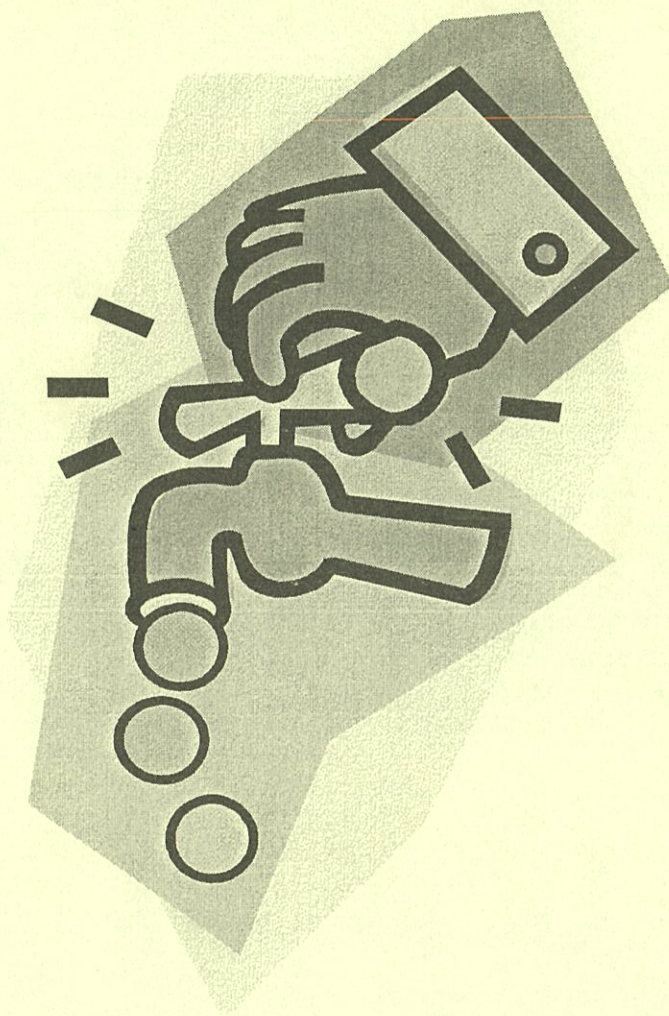
その結果、現在では滑川市に住んでいるほとんどの人が水道水を使って生活しています。

滑川市の水道普及率^{ふきゅうりつ} 97.7%

滑川市の人口^{じんこう} 32,654 人 水道を使っている人の数 31,903 人
 (水道普及率^{ふきゅうりつ} = 水道を使っている人の数 ÷ 滑川市の人口^{じんこう})

◇年 表

年 月	で き ご と
昭和 29 年 3 月	滑川市ができる
32 年 1 月	水道水の供給が始まる
33 年 7 月	横道に配水池ができる ※このときはタンク 1 つ (容量 ^{ようりょう} 1,900 m ³) だけ
49 年 8 月	横道配水池に 2 つ目のタンク (容量 1,800 m ³) ができる
54 年 3 月	横道配水池に 3 つ目のタンク (容量 2,300 m ³) ができる
平成 4 年 3 月	東加積地区へ水道水の供給が始まる
8 年 4 月	山加積地区へ水道水の供給が始まる
12 年 3 月	市内のほぼ全域に水道水の供給が可能になる
21 年 10 月	新横道配水池 (容量 3,500 m ³) ができる ^{のち} (後に横道配水池の 1 つ目の古いタンク (容量 ^{ようりょう} 1,900 m ³) は解体撤去 ^{かいたいてつきよ} しました)



滑川市上下水道課

〒936-8601

滑川市寺家町104番地

令和6年5月発行